

小型パソコン ～持ち帰らせます！～ 4日(木)



全児童が4日(木)に小型パソコンを持ち帰る予定を立てています！このパソコンは、国の「GIGA スクール構想」により一人一台配布されました。2学期に持ち帰ったタブレットは、村所有の防災タブレットで、それと交換しています。今後はこの小型パソコンをドシドシ活用していきます。

●予定では、4日に持ち帰り土日にかけて、インターネット接続をしていただきます。そして、クラスルームを開いて、そこから担任の先生にメール送信を行う計画です。子どもたちが自分の力でできるよう支援く

ださい。その後、8日(月)に学校に持って行くように声がけください。

今回は、パソコン用のバッグはありません。そのままランドセルに入りますので、付属品(電源からのコード)とともにランドセル内に入れて持ち運びします。この動きを子どもたちに慣れさせたいと思います。 ご協力をお願いします。

◎一昨年の消費税の引き上げに伴い、キャッシュレスが一気に進みました。スマホで駅の改札やバスを乗降する人、コンビニや自動販売機で支払う人…。私が若い頃とは大きく変わりました。お年玉や結婚式のご祝儀も電子マネー対応のようです。このままでいくと、実際の紙幣・硬貨を目にすることが無くなるかもしれません。

スマートフォンが世に出て未だ10年足らずと言われます。凄まじい進展でパソコンを絶えず手にしているような生活スタイルです。子どもたちが活躍する頃は、いったいどのような社会になっているのでしょうか？

現在様々な所で耳にする AI との共生社会 でしょうか！働き方も変化し、外国人が隣に普通に居て、遠方のメンバーはオンラインで参加するミーティング形式。同時通訳機能も充実して、AI搭載のロボットなど多種多様な人々等がミーティングに参加しているかもしれません。

◎そんな時代に生きる子どもたちに必要な資質・能力は何でしょうか？

よく言われていることは、多様性を受け入れる寛容性と正解のない解に向かう学びの姿勢です。

コロナ禍の対応を進めながらも、本校では可能な範囲で体験活動や本物に触れさせる機会を作っています。そして、学級全体で話し合い、折り合いを付けて決めていくことを鍛錬する「話し合い活動」を進めています。また、今まさに急ピッチで推進している事は、日々の教育活動での ICT 機器の利活用化です。コロナ禍のお陰で、このことが急進しました。次世代を担う子どもたちが、科学技術の消費者になるのではなく、共生もしくは価値の創造者になってほしいと願います。

●子どもたちに配布しているパソコンは、貴重なものですし、大切に扱うことを指導していただきたいことは言うまでもありません。が、しかし、お飾りにはしないでください。むしろ使いすぎて壊れてしまった方が目的を達成していると言えます。

県の指導者は、「この小型パソコンを、子ども自身の 文具 とさせて欲し



い。」大人がコピー機を使用することと同じように、子ども自身の道具として生かして欲しいと言っています。ラインやメールを隠れてヒソヒソ・ビクビクと使用するのではなく、オープンに積極的活用をさせながら、いけないこと等のルールを教え、効率よい活用を進めることが重要だということです。

学校もそのように考え方を改め、学校内外で子どもたちがパソコンを有効活用していけるよう研修を進めたいと考えています。現在、各教室にはパソコンを収納し、同時に充電が出来る棚が設置されています。一日一回、小型パソコンを起動し操作させる演習を組むよう努めています。

この動きや操作に慣れさせ、日々小型パソコンを持ち帰り、学習に生かしている子どもたちの生活リズムを作りたいと考えています。



漢字検定



今年度の漢字検定が終了しました。

どうでしょうか？お子さんから聞いてくださり、その感触等はいかがでしょうか？

試験当日は、写真の

通りの様子でした。

3年生以上は、自教室以外の場所で受け

ました。周りに掲示物のないところで真剣勝負です。担任の先生方も真剣です。緊張感を持って試験に臨む体験もこれまたよろしいと思いました。それぞれの学年で、この日まで工夫しながら、子どもの気持ちを鼓舞しながら学習を進めてくれました。子どもたちは、それこそ「いい顔」で試験に臨んでいたように思います。

結果はついてくるもの。それはそれ。これまでの過程が大切！きっと子どもたちの力になっていくと思います。



明日、節分！ 2日(火)



明日は、豆まきするのかなあ？「福はうち」「鬼はそと」！豆のまく音と、その声が響いてきそうです。先号でも書きましたので、今回は、全国での豆まきを紹介します。

愛知県名古屋市のあるお寺は、「福はうち」のみで、「鬼はそと」は禁句です。そのお寺の宝は、「鬼の面」であるそうで、お寺を守ってくれる鬼が出ていかにしないようにしているしきたりのようです。また、埼玉県のある神社は、鬼が祀られています。節分では、鬼が豆をまき、参拝者の悪魔を追い払うとされ、掛け声は、「福はうち、鬼はうち、悪魔そと」なのだそうです。

同じ日本でも、様々な文化や価値観があるのですね！

多様性が求められる今、視野を広げ、様々な捉え方、考え方に関心を持ちましょう！ね。